

北海道で唯一のCintel Scanner稼働中!

フィルムスキヤニング サービスのご紹介

映像フィルムは 歴史的に貴重な財産 未来へ遺し、活かすために

HBCフレックスが1955年の創業から作り続けたフィルム作品。

1,000タイトルを超える作品をアーカイブするため、

2017年に北海道で初めてCintel Scanner(映画用フィルムスキャナー)を導入しました。

以後、自社作品以外にも受注を開始し、制作会社として培った最新の映像技術と

フィルムの扱いに長けたベテランスタッフが数多くのフィルムのデジタル化を進めています。

デジタル化のメリットとは

Merit 1 いつでも簡単に視聴できる

Merit 2 デジタル処理による色の復元やフィルムノイズの低減が可能

Merit 3 イベント上映や社内研修での活用に

Merit 4 YouTubeなどに動画としてアップロードできる

Merit 5 動画から切り出した静止画をWebサイトや印刷物に使用可能

※著作権のクリアが必要な作品もあります

サービスの流れ

1 フィルムチェック・お見積り

お問い合わせをいただいた後、実際にフィルムの状態をチェックさせていただき、スキャニングのお見積りをいたします。

(場所やフィルムの本数によっては担当者が伺う場合もございます)。

※補修が必要な場合は別途見積もりとなります。また劣化状態によってはスキャンできない場合があります。

2 スキャニング

ご注文後、実際の作業に入ります。

Cintel Scannerを用いて1コマずつデジタルデータとして取り込みます。

16mmフィルムはフルHD解像度、35mmフィルムは4K解像度を有する高精細な画像として蘇ります。

3 グレーディング(オプション)

フィルムからスキャンした映像は経年劣化や保存状態によって色あせていたり、色味が制作当時とは変わっていたりすることもあります。

ご要望に応じてカットごとの色味やコントラストを丁寧に補正します。

※退色の程度によっては復元の難しい場合もあります。

4 エンコード・オーサリング

スキャニングと必要に応じてグレーディングを終えたフィルムの映像を1つのファイルとして書き出します。

PCで視聴しやすいmp4やwmv、テレビ向けのDVDビデオなど使用環境に合わせて映像データを作成します。

グレーディング

1961年製作 映画「北海道」(35mmネガフィルム)



Before
色調整前



After
色調整後



年月が経ち、色あせたフィルムが本来の色彩によみがえります。

35mmフィルムは4Kサイズ、
16mmフィルムはHDサイズ的数据へ変換。
デジタル処理によるキメ細かい色の調整とノイズの低減が可能です。

※専用のソフトウェアを使うと映像の一部の色・明るさだけの修復も可能です。

基本料金 (税別)

▶ 16mm ポジフィルム

10分まで **45,000円** | 以降1分ごと
2,500円

料金計算例

20分の16mmポジフィルム作品の場合
45,000円+(2,500円×10分)
=**70,000円**(別途諸費用)

▶ 35mm ポジフィルム

10分まで **65,000円** | 以降1分ごと
3,500円

料金計算例

20分の35mmポジフィルム作品の場合
65,000円+(3,500円×10分)
=**100,000円**(別途諸費用)

※ 16mm、35mmともネガフィルムのスキャンングも対応いたします。
※ 補修が必要な場合は別途見積りとなります。また劣化状態によってはスキャンできない場合があります。
※ 8mmフィルムのデジタル化も承ります。

変換対応メディア／データ

DVD、ブルーレイディスク他／mp4、wmv、mov他

Contact

お問い合わせ

Mail produce@hbc-flex.co.jp

TEL 011-521-6105

FAX 011-521-6135



〒064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目13番地73 弘安ビル3F

HBCフレックス

検索